

## 美術館運営方針及び事業概要について

### 1 美術館運営方針

#### (1) 基本理念

当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

#### (2) 基本的性格

ア 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。

イ 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。

ウ 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。

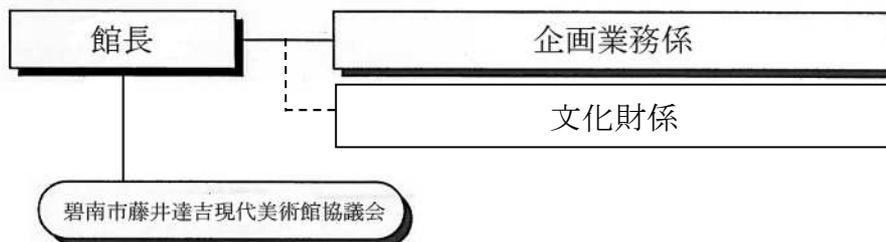
エ 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

#### (3) 組織

##### ア 行政組織図



イ 組織体制



ウ 人員配置 (令和5年4月1日現在)

館長 非常勤特別職 1人

副館長 課長級 1人

企画業務係 係長級 1人 (事務員)、主事級 2人 (学芸員)

会計年度任用職員 3人 (学芸員)、会計年度任用職員 2人

文化財係 係長級 1人 (学芸員)、主事級 1人 (学芸員)、会計年度任用職員 1人

(4) 予算

ア 令和5年度予算状況 (当初)

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	26,780	196	41,904	55,904	16,550	998	142,332
特定財源	0	0	281	13,200	105	0	13,586
一般財源	26,780	196	41,623	42,704	16,445	998	128,746

イ 令和6年度予算要求状況

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	31,730	196	42,378	46,020	13,361	1,236	134,921
特定財源	0	0	274	7,272	105	0	7,651
一般財源	31,730	196	42,104	38,748	13,256	1,236	127,270

## (5) 施設

### 施設概要

#### ■建物・設備概要

##### 施設概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
敷地面積	2,138.19㎡
建築面積	964.60㎡(既存部820.36㎡、増築面積144.24㎡)
延床面積	2,934.52㎡
階数	地下1階、地上3階
最高高さ	16.54m
工事種別	増築、用途変更
構造種別	鉄筋コンクリート造
建築主	碧南市
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社
リニューアル	(建築工事) 木村建設株式会社
工事施工	(電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (機械設備工事) 株式会社桐元
仕上げ	(屋根) 日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カ ラーステンレス鋼板 (外壁) 鋼製430ルーバー 施軸せつ器質タイル (建具) アルミサッシュ (展示室) 床：タイルカーペット 壁：石膏ボード+調湿建材、 ガラスクロスエマルジョンペイント 天井：エキスパンドメタル (多目的室A) 床：浸透性コンクリート表面硬化剤 壁：石膏ボード、 ガラスクロスエマルジョンペイント 天井：石膏ボード、 エマルジョンペイント (収蔵庫) 床：ビニール床シート 壁：片面アルミフィルム張 (庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井：片面アルミフィルム張 (庫内側)石膏ボード+ ロックウール化粧吸音板
電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式 6600V(屋外閉鎖型) 主変電 三相100kVA×1 単相50kVA×1 副変電 三相300kVA×1 単相100kVA×2 幹線 照明 単相3線式 200/100V 動力 三相3線式 200V 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、 非常放送(兼用)
空調設備	(熱源) エネルギー・電気 (方式) 空気熱源ヒートポンプ方式 (空調) 個別方式 展示室：カセット型、 収蔵庫：床置型 (換気) 個別式 1種換気・3種換気方式 (排煙) 自然排煙方式、機械排煙方式 (監視) 中央監視方式
衛生設備	(給水) 美術館用：上水 (引込口径40A、直圧給水) 厨房用：上水 (引込口径20A、直圧給水) (給湯) 個別式(電気)、貯湯式 (排水) 屋内汚水、 雑排水分流式 屋外合流方式 屋外排水下水道放流 (消火) 屋内消火栓設備、 窒素ガス消火設備、連結散水設備

エレベーター	機械室レス 1基 (1000kg積 15人乗 45.0m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)
--------	---

##### 設備概要

###### 展示保存環境

###### 空調調和

区分	設定温度 (目標値)	温度変化	設定湿度 (目標値)	湿度変化
展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

作品展示：壁面展示、固定展示ケースのほか移動型展示ケースにて展示

展示室1	階数：2階 床：タイルカーペット 面積：193.0㎡ 天井高：3.2～6.4m 床耐荷重：350.0kg/㎡
展示室2	階数：2階 床：タイルカーペット 面積：177.0㎡ 天井高：2.7m 床耐荷重：500.0kg/㎡ 展示ケース長 10.0m
展示室3	階数：1階 床：タイルカーペット 面積：83.0㎡ 天井高：2.7m 床耐荷重：290.0kg/㎡ 展示ケース長 7.0m
展示室4 (藤井達吉記念室)	階数：1階 床：タイルカーペット 面積：90.0㎡ 天井高：2.9m 床耐荷重：500.0kg/㎡
多目的室A	階数：2階 床：浸透性コンクリート表面硬化剤 面積：81.2㎡ 天井高：2.75m 床耐荷重：290.0kg/㎡
多目的室B	階数：B1階 面積：104.0㎡

###### 収蔵保管設備

区分	階数	面積
収蔵庫1	3階	78.0㎡
収蔵庫2	3階	70.0㎡
収蔵庫3	3階	89.5㎡
保存修復室	1階	32.2㎡
一時保管庫	1階	19.0㎡
荷解室	1階	38.976㎡
エレベーター	兼用	

###### 教育普及等設備

区分	階数	面積
創作室	B1階	63.0㎡
情報コーナー	B1階	135.0㎡

###### 防災設備

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置。 閉館時には機械監視警備監視カメラ(事務室でモニタ可能)

## 2 事業概要

### (1) 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

#### <企画方針>

- ア 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- イ 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- ウ 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- エ 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

### (2) 常設展等

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

### (3) 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親んでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

### (4) 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

#### <収集方針>

- ア 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- イ 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- ウ 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- エ 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- オ 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

### (5) 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

## 令和 5 年度活動状況

## 1 企画展

## (1) 碧南市制 75 周年記念事業 開館 15 周年記念 碧南市藤井達吉現代美術館リニューアル記念展 碧い海の宝箱 —達吉からはばたく未来—

内 容	新装した展示室等施設や設備を公開するとともに、藤井の作品や資料をはじめ、購入や多くの篤志家の方々からご寄贈いただいた美術作品など、これまでに収蔵してきた所蔵品の中から厳選した名品 112 件を改めてご紹介しました。
会 期	令和5年5月2日(火)～6月25日(日) 48日間
会 場	展示室1・2・3・4・多目的室A
観覧者数	5,689人(118.5人/日)
主 催	碧南市・碧南市教育委員会・碧南市藤井達吉現代美術館
後 援	中日新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社
出品点数	112件
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、カタログB5変型判(253×190mm、92頁)
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ：ARTICAL 小島邦康 カタログ：西濃印刷株式会社
担 当	大長悠子
関連事業	<p>①オープニングトーク 演題：「碧い海の宝箱—達吉からはばたく未来—」 日時：令和5年5月6日(土)14時～15時 講師：木本文平(当館館長) 会場：多目的室B 参加者：58人</p> <p>②スペシャルトーク 演題：「大正新南画と碧南市藤井達吉現代美術館のコレクションについて」 日時：令和5年5月21日(日)14時～15時 講師：吉田俊英氏(四日市市立博物館館長) 会場：多目的室B 参加者：53人</p> <p>③スペシャルトーク 演題：「まちの風景としての藤井達吉現代美術館」 日時：令和5年6月11日(日)14時～15時</p>

	<p>講師：古賀大氏（株式会社日本設計 執行役員フェロー）  司会：木本文平（当館館長）  会場：多目的室B  参加者：33人</p> <p>④ゲストトーク「美術館西側外壁に新設したレリーフの製作について」  日時：令和5年5月27日（土）14時～  講師：梶川俊一郎氏（鬼師）  会場：多目的室B  参加者：28人</p> <p>⑤アーティストトーク「1階階段横に新しく常設展示した作品 Double Rings について」  日時：令和5年6月4日（日）14時～  講師：山本富章（アーティスト）  会場：多目的室B  参加者：19人</p> <p>⑥学芸員連続講座  第1回：令和5年5月13日（土）14時～15時 8人  演題：「藤井達吉・人と芸術」  説明者：大長悠子（当館学芸員）  第2回：令和5年5月20日（土）14時～15時 9人  演題：「保存修復ってなに？」  説明者：岩月真由子（当館学芸員）  第3回：令和5年6月3日（土）14時～15時 11人  演題：「石川三碧コレクションについて」  説明者：豆田誠路（文化財課係長）、日置麻里（文化財課学芸員）  第4回：令和5年6月10日（土）14時～15時 5人  演題：「日本画家・星野真吾の人拓体験ワークショップ」  説明者：大野俊治（当館特任学芸員）</p> <p>⑦ワークショップ「お花を咲かそう！ぽんぽんスタンプ」  内容：藤井達吉の図案を参考に、図形を組み合わせて紙にスタンプし、草花を表現しました。  日時：令和5年5月3日（水）～5月5日（金）10時30分～11時45分、13時30分～16時30分  講師：当館教育普及担当  集合：創作室</p>
--	--

	<p>参加者 68 人  参加費：100 円  対象：3 歳以上（幼児は保護者同伴）  ⑧ワークショップ「つなげる」×「さーくる」  内容：山本富章《DoubleRings》を参考に、身近な道具・材料でサークル（輪）を作る体験をしました。  日時：令和 5 年 5 月 3 日（水）～5 月 5 日（金）10 時 30 分～11 時 45 分、13 時 30 分～16 時 30 分  講師：当館教育普及担当  集合：創作室</p> <p>参加者 44 人  参加費：無料  対象：3 歳以上（幼児は保護者同伴）  ⑨リニューアルオープン記念コンサート  日時：令和 5 年 5 月 3 日（水）15 時～15 時 45 分  演者：碧南高校吹奏楽部  内容：加山雄三コレクション、ウィーアーなどの海に関連した楽曲で来館者を楽しませました。  会場：喫茶むぎの家</p> <p>参加者：77 人  ⑩絵はがきプレゼント  日時：令和 5 年 5 月 2 日（火）～5 月 7 日（日）  内容：当館所蔵の藤井達吉《蜻蛉図掛軸》を先着 500 枚プレゼントしました。</p> <p>参加者：500 人  ⑪あおいパークもぎとりチケット  日時：5 月 5 日（金）  対象：小学生以下</p> <p>参加者：16 人  ⑫ギャラリー・トーク（展示説明会、14 時～）  説明者：大長悠子（当館学芸員）  第 1 回：令和 5 年 5 月 14 日（日） 15 人  第 2 回：令和 5 年 6 月 17 日（土） 18 人</p>
メディア	<p>・『美術の窓』12 月号 展覧会紹介（生活の友社 2022 年 12 月 20 日発行）</p>

<p>掲載記事 (全57件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おでかけガイド 愛知の博物館2023. 4→2023. 10」 (3月発行、愛知県博物館協会)</li> <li>・広報へきなん 4月号、5月号 (表紙掲載)</li> <li>・中日新聞朝刊【ARTJAM special 企画公演1 梓施設情報】(4月14日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 (西三河版)「来月リニューアルオープン」(4月14日)</li> <li>・JR金山・刈谷駅ポスター集中貼り広告 (4月24日～6月25日)</li> <li>・「碧南商工会議所会報」2023年4月号 インフォメーション (令和5年4月25日発行、碧南商工会議所)</li> <li>・Pitch FM「まちのまど」(生放送) (4月26日 12:45～ 大長出演)</li> <li>・FM AICHI「FRIDAY MAGIC」(4月28日 12:10～ 大長出演)</li> <li>・Pitch FM Pitch HAPPY市場 (生放送) (4月28日 12:45～ 大長出演)</li> <li>・碧南・高浜タウン情報誌たんぼぼニュース「展覧会紹介」(4月28日)</li> <li>・安城ホームニュース「4面」(令和5年4月28日)</li> <li>・知立くらしのニュース「4面」(令和5年4月28日)</li> <li>・刈谷ホームニュース「4面」(令和5年4月28日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 (西三河版)「リニューアルオープン」(4月29日)</li> <li>・毎日新聞・朝刊 イベント情報「ぐるっと東海」展覧会紹介 (黒尾透記者 令和5年4月29日発行)</li> <li>・『ナゴヤアートニュース4・5月号』東海アド・エージェンシー</li> <li>・KATCH NETWORK「KATCH TIME 30」(初回放送 令和5年5月2日(火)、3日(水)、8日(月))</li> <li>・読売新聞・愛知版 (令和5年5月2日)</li> <li>・朝日新聞・朝刊 (三河版)「リニューアルオープン」(5月4日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 (三河版)「藤井達吉現代美術館再開、記念展も」(5月7日)</li> <li>・「主な美術館・博物館の催し」中日新聞 (夕刊) (5月11日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 (西三河版)「リニューアル記念展 開催中」(5月16日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 (カルチャー)「出品作品 大島風物図屏風」(5月19日)</li> <li>・『フリモかわら6月号』「イベントニュース」欄 (5月20日発行、</li> </ul>
------------------------	--

	<p>ハートフルメディア株式会社)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日新聞・朝刊「museum」「藤井達吉・蜻蛉図壁掛」(大長寄稿、5月27日発行)</li> <li>・豊橋文化「きまぐれプチ旅」欄 (6月15日発行、(公財)豊橋文化振興財団)</li> <li>・朝日新聞・朝刊愛知三河版「14版」(小林裕子記者、令和5年5月4日)</li> <li>・中日新聞・朝刊三河版「12面」(令和5年5月7日)</li> <li>・中日新聞・夕刊 週末ガイド 「主な美術館・博物館」(令和5年5月11日)</li> <li>・中日新聞・朝刊西三河版「15面」(西山和弘記者、令和5年5月16日)</li> <li>・中日新聞・朝刊 カルチャー「11面」(令和5年5月19日)</li> <li>・豊橋文化 Vol.50 (令和5年6月15日発行 (公財)豊橋文化振興財団)</li> <li>・『地域創造レター』(令和5年5月25日発行、財団法人地域創造)</li> <li>・KATCH アートナビ (KATCH TIME 30) (初回放送 令和5年5月25日)</li> <li>・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」5月号、6月号 (株式会社ギャラリーステーション)</li> <li>・「フリーペーパー 道の駅」 東海版 愛知・三重・静岡 2023年夏号 展覧会紹介 (令和5年6月1日発行、株式会社RSP道の駅)</li> <li>・「みどり」2023年夏号 リニューアル紹介 (令和5年6月発行、エムアイシーグループ)</li> <li>・名鉄WIND 6月号 広告 イベントカレンダー</li> <li>・『美術批評誌リア』リニューアル記念展 (令和6年2月29日発行、リア制作室)</li> <li>・今見られる全国のおすすめ展覧会 by KATYCOM(Web)</li> <li>・Tokyo Art Beat(Web)</li> <li>・駅探(Web)</li> <li>・美術展ナビ(Web)</li> <li>・ウォーカープラス(Web)</li> <li>・西三河ぐるっとナビ(Web)</li> </ul>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ goo ニュース (Web)</li> <li>・ outermostNAGOYA (Web)</li> <li>・ atoato.net (Web)</li> <li>・ dメニュー ニュース (Web)</li> <li>・ abc0120 (Web)</li> <li>・ thisismedia (Web)</li> <li>・ 碧南市公式 LINE</li> <li>・ 碧南市公式 X</li> </ul>
団体鑑賞	岐阜県立加納高等学校美術科 2 年生 41 人

(2) 碧南市制 75 周年記念事業 開館 15 周年記念  
 歴史系企画展 生誕 160 年 清澤満之の世界展

(文化財課予算対応)

内 容	明治時代の宗教思想家である清澤満之(1863-1903)の生誕 160 年、没後 120 年を記念した展覧会。名古屋に生まれた満之は、東本願寺で僧侶となった後、東京大学哲学科を卒業。京都府尋常中学校長、のち真宗大学初代学監となりました。この頃、門下らと東京の浩々洞 <small>こうこうどう</small> で求道の共同生活をし、雑誌『精神界』を発行して近代的仏教信仰の確立をめざす「精神主義」を提唱しました。本展では、碧南にゆかりがある満之の生涯を、著作や写真、資料等で辿りながら、彼の思想の形成過程を追いました。
会 期	令和5年7月7日(金)～8月27日(日) 45日間
会 場	展示室1・2・多目的室A
観覧者数	4,226人(1日平均93.9人)
主 催	碧南市・碧南市教育委員会・碧南市藤井達吉現代美術館
共 催	朝日新聞社
協 力	法應山西方寺・清澤満之記念館、大谷大学、碧南市文化財保護審議会
出品点数	111点(一部展示替を含む)
印 刷 物	ポスターB1, B2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 カタログB5判変型、鑑賞ガイド・出品一覧A4判6頁
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：作石敏達+マクガフィンデザイン事務所、 カタログ：エムアイシーグループ
担 当	豆田誠路
関連事業	①記念講演会「清澤満之とその時代」

	<p>日時：令和5年7月9日（日）14時～15時30分  講師：岩田文昭氏（大阪教育大学教授）  会場：西方寺本堂  参加者：143人</p> <p>②記念対談「どうする満之さん！」  日時：令和5年8月19日（土）14時～15時30分  講師：清澤聡之氏（西方寺住職）、浅井久夫氏（市文化財保護審議会会長、『清沢満之物語』著者）  会場：藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B  参加者：40人</p> <p>③ギャラリートーク（展示説明会、14時～）  説明者：豆田誠路／日置麻里（担当学芸員）</p> <p>第1回：令和5年7月8日（土） 20人  第2回：令和5年7月15日（土） 21人  第3回：令和5年7月22日（土） 18人  第4回：令和5年7月29日（土） 10人  第5回：令和5年8月5日（土） 16人  第6回：令和5年8月12日（土） 20人  第7回：令和5年8月26日（土） 35人</p>
<p>メディア  掲載記事  （全21件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日新聞・朝刊（1月6日）「Arts &amp; Culture 2023」展覧会紹介</li> <li>・『月刊なごや』7月号「わいわいTOPICS 「清澤満之の世界展」開催」（北白川書房）</li> <li>・「おでかけガイド 愛知の博物館2023.4→2023.10」（3月発行、愛知県博物館協会）</li> <li>・『ナゴヤアートニュース6・7月号』東海アド・エージェンシー</li> <li>・朝日新聞・朝刊（6月24日）社告</li> <li>・朝日新聞・朝刊三河版「「清澤満之の世界展」社会面広告・招待券プレゼント」（7月7日）以後、テレビ面・社会面等新聞広告掲出</li> <li>・朝日新聞・朝刊三河版「「清澤満之の世界展」開催」（7月7日）</li> <li>・中日新聞・朝刊三河版「碧南で「清沢満之の世界展」」（7月9日）</li> <li>・名古屋鉄道主要駅構内ポスター掲示（7月14日～8月13日）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃毎日新聞・朝刊文化面「展覧会 関西・東海」(7月18日)</li> <li>・中日新聞・全面広告「さあ、夏だ！出かけよう！！」(7月22日)</li> <li>・産経新聞(8月6日) 山上直子「論説委員 日曜に書く 司馬少年に蒔かれた「たね」」</li> <li>・文化時報(宗教専門紙)(8月11日)「清沢満之の思想紹介 愛知県碧南市で特別展」</li> <li>・「季刊みどり」夏号(エムアイシーグループ)</li> <li>・Pitch FM ピっちスクエア「まちのまど」(生放送)(7月12日 13時35分～45分 日置出演)</li> <li>・サイト「Event Bank」イベント情報掲出(Event Bank PRESS)</li> <li>・『フリモかわら7月号』「巻頭特集」欄(6月20日発行、ハートフルメディア株式会社)</li> <li>・フリモかわら8月号(ハートフルメディア)</li> <li>・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」7月号、8月号(株式会社ギャラリーステーション)</li> <li>・碧南市公式LINE</li> </ul>
--	---

**(3) 碧南市制 75 周年記念事業 開館 15 周年記念 美術と風土 アーティストが触れた伊那谷展**

内 容	20人の現代作家が、信州の伊那谷を訪れ、この地域が持つ特有の風土(気候や地勢)や生活、歴史や文化に実際に触れて得たインスピレーションをもとに制作した作品を紹介しました。
会 期	令和5年9月5日(火)～10月9日(火) 31日間
会 場	展示室1・2・3・多目的室A・展示室ロビー
観覧者数	4,502人(1日平均145.2人)
主 催	碧南市、碧南市教育委員会、碧南市藤井達吉現代美術館、公益財団法人 きょうと視覚文化振興財団
共 催	中日新聞社
出品点数	40点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.5cm、鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型(24.2×18.2cm)

印刷物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：共同印刷工業株式会社 カタログ：共同印刷工業株式会社
担 当	大野俊治
関連事業	<p>①非日常体験ツアー アートと抹茶を愉しむ！  日時：令和5年9月8日（金）11時～15時  内容：美術館と哲学たいけん村無我苑を回る鑑賞バスツアー。美術館では学芸員、無我苑では茶畑和也氏（イラストレーター）による説明も行いました。  会場：企画展会場、哲学たいけん村無我苑  参加者 17人  参加費：500円（お土産、呈茶付き）</p> <p>②敬老の日ワークショップ ドライフラワーでブーケを作ろう  日時：令和5年9月10日（日） 10時～、10時30分～、11時～、13時～、13時30分～、14時～  講師：磯貝氏・石川氏（フラワーショップ 晴～SUN～）  内容：自分で選んだドライフラワーでブーケを作り、藤井達吉の図案スタンプでメッセージカードを作りました。  会場：創作室  参加者 117人  参加費：800円</p> <p>③朝活美術館  日時：令和5年9月22日（金）10時～11時30分  内容：館内にある喫茶「むぎの家」でモーニングを食べながら、学芸員が作品説明など展示の裏話を行いました。  会場：企画展会場、むぎの家  参加者 8人  参加費：900円（観覧料、モーニング代含む）</p> <p>④美術を感じてネイルアート  日時：令和5年9月23日（土）10時～、11時30分～、13時～、14時30分～  内容：展示を鑑賞後、伊那谷地区の自然をイメージした色で、1級ネイリストが両手にネイルを行いました。  会場：企画展会場、創作室  参加者 4人  参加費：5,500円（観覧料、ジェルネイルオフを含む）</p>

	<p>⑤ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～）  説明者：大野俊治（当館特任学芸員）  第1回：令和5年9月16日（土） 19人</p> <p>⑥絵はがきプレゼント  日時：令和5年9月5日（火）～9月10日（日）  内容：出展作家の林繭子氏の絵はがきを先着500枚プレゼントしました。</p> <p>⑦缶バッチ作り  日時：会期中の土曜日・日曜日・祝日  製作数：81個</p> <p>⑧サコッシュ ガチャガチャ当たり付き  日時：会期中  内容：海浜水族館の招待券が一部入っている当たり付きにしました。</p>
<p>メディア  掲載記事  （全41件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Pitch FM まちかどリポート（9月29日 午後11時30分～ 大野出演）</li> <li>・KATCH NETWORK「KATCH TIME30」80万人達成（10月2日）</li> <li>・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」8月号、9月号、10月号（株式会社ギャラリーステーション）</li> <li>・広報へきなん 8月号、9月号</li> <li>・『ナゴヤアートニュース8・9月号』東海アド・エージェンシー</li> <li>・中日新聞・朝刊（西三河版）「碧南おでかけセットとして招待券プレゼント」（7月22日）</li> <li>・「まなびいあいち」2023年10-11月号 展覧会紹介（9月発行、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団）</li> <li>・碧南・高浜タウン情報誌たんぼぼニュース「展覧会紹介」（8月25日）</li> <li>・地下鉄名古屋駅・リニモ芸大通・名鉄徳重、名鉄名古屋芸大駅ポスター集中貼り広告（9月6日～10月2日）</li> <li>・「主な美術館・博物館の催し」中日新聞（夕刊）（9月7日、14日、28日）</li> <li>・中日新聞朝刊【ARTJAM special 企画公演1 枠施設情報】（9月9日）</li> <li>・中日新聞・朝刊広域版題字下広告（9月16日、22日、28日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（三河総合）「三河イベント情報」（8月27日）</li> <li>・『J-B Style2023 秋』「この秋行きたい！最新美術館」欄（9月1日発行、株式会社JCBトラベル）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中日新聞・朝刊（西三河版）「展覧会紹介」（9月5日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（愛知総合）「伊那谷展 きょうから」（9月5日）</li> <li>・「おでかけガイド 愛知の博物館 2023.4→2023.10」「おでかけガイド 愛知の博物館 2023.10→2024.3」（3・10月発行、愛知県博物館協会）</li> <li>・中日新聞・朝刊（西三河版）「80万人達成」（10月3日）</li> <li>・今見られる全国のおすすめ展覧会 by KATYCOM(Web)</li> <li>・Tokyo Art Beat(Web)</li> <li>・駅探(Web)</li> <li>・美術展ナビ(Web)</li> <li>・美術手帖(Web)</li> <li>・ウォーカープラス(Web)</li> <li>・西三河ぐるっとナビ(Web)</li> <li>・goo ニュース(Web)</li> <li>・atoato.net(Web)</li> <li>・ゆこゆこ(Web)</li> <li>・dメニュー ニュース(Web)</li> <li>・いこーよ(Web)</li> <li>・きょうと視覚文化振興財団(Web)</li> <li>・碧南市公式LINE</li> <li>・碧南市公式X</li> </ul>
美術館学習	市内小学校5年生 666人・教員27人

(4) 碧南市制75周年記念事業 開館15周年記念 須田国太郎の芸術 —三つのまなざし—

内 容	須田国太郎の初期から晩年に至る代表作を中心に滞欧中に自ら撮影した写真や能・狂言を題材にしたデッサン、さらには須田自身がコレクションしたグリコのおもちゃやカメラなどの遺品も併せて紹介しました。
会 期	令和5年10月28日（土）～12月17日（日） 44日間
会 場	展示室1・2・4・多目的室A・エントランスホール
観覧者数	6,290人（1日平均143人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会
共 催	中日新聞社、公益財団法人 きょうと視覚文化振興財団
協 力	京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、京都市美術館

出品点数	106件156点
印刷物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.5cm、鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型 (25.8×19.0cm)
印刷物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：大向デザイン事務所 カタログ：大向デザイン事務所
担 当	木本文平・大野俊治・岩月真由子
関連事業	<p>①記念講演会 演題：「須田国太郎の魅カー三つのまなざしー」 日時：令和5年11月4日（土）14時～15時30分 講師：木本文平（当館館長） 会場：多目的室B 参加者：55人</p> <p>②記念講演会 演題：「須田のリアル論」 日時：令和5年11月18日（土）14時～15時30分 講師：梶岡秀一氏（京都国立近代美術館学芸課情報資料室長） 会場：多目的室B 参加者：40人</p> <p>③記念講演会 演題：「須田国太郎の画業」 日時：令和5年11月25日（土）14時～15時30分 講師：中谷至宏氏（京都市美術館学芸アドバイザー・成安造形大学教授） 会場：大浜まちかどサロン 2階・多目的ホール 参加者：22人</p> <p>④ミュージアムコンサート 日時：令和5年11月3日（金）14時～15時 演者：栗原武啓（ギター）、森薫里（ヴォーカル）、魚住英史（パーカッション） 内容：「情熱のスパニッシュ・ラテンミュージックライブ」と題したラテン音楽によるコンサートでした。 協力：碧南市芸術文化ホール エリアワングループ 会場：喫茶むぎの家 参加者：67人</p> <p>⑤ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～）</p>

	<p>説明者：大野俊治（当館特任学芸員）、岩月真由子（当館学芸員）</p> <p>第1回：令和5年11月11日（土） 20人  第2回：令和5年11月25日（土） 28人  第3回：令和5年12月2日（土） 15人  第4回：令和5年12月16日（土） 45人</p> <p>⑤あいち県民の日関連イベント「鑑賞の一と どうぶつを探そう」  日時：令和5年11月24日（金）～令和5年11月26日（日）  内容：須田国太郎の作品に登場する動物を探し、作品名や感想を書い  てもらいました。参加者には須田国太郎もコレクションしたグリコの  おもちゃ付きお菓子をプレゼントしました。  会場：企画展会場  参加者 70人</p> <p>⑥「県民の日学校ホリデー」観覧無料  日時：令和5年11月24日（金）  観覧者：280人</p> <p>⑦喫茶コーナー「むぎの家」企画展特別メニュー  内容：展示期間中は須田国太郎が留学したスペインの家庭料理「牛肉  の赤ワイン煮」が提供されました。</p> <p>⑧缶バッチ作り  日時：会期中の土曜日・日曜日・祝日  製作数：31個</p>
<p>メディア  掲載記事  （全43件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KATCH「KATCH TIME 30」（初回12月1日放送）</li> <li>・Pitch FM まちかどりレポート（11月1日 午前11時30分～ 大野  出演）</li> <li>・広報へきなん 10月号</li> <li>・『ナゴヤアートニュース10・11月号』東海アド・エージェンシー</li> <li>・「おでかけガイド 愛知の博物館2023.10→2024.3」（10月発行、愛  知県博物館協会）</li> <li>・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」11月号、12月号（株式会社ギャ  ラリーステーション）</li> <li>・中日新聞朝刊【ART JAM企画2段1/4カラー】（10月14日）</li> <li>・JR金山・刈谷駅ポスター集中貼り広告（10月23日～12月17日）</li> <li>・名古屋鉄道主要駅構内チラシ設置（10月28日～12月17日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（愛知総合）「須田国太郎展 きょうから」（10月28  日）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中日新聞・朝刊（三河総合）「三河イベント情報」（10月29日）</li> <li>・中日新聞・朝刊西三河版題字下広告（11月1日、8日、16日、28日、12月7日）</li> <li>・「主な美術館・博物館の催し」中日新聞（夕刊）（11月2日、9日、30日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（カルチャー）「美術 須田国太郎の芸術」（11月10日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（愛知総合）「連載・上」（11月21日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（愛知総合）「連載・下」（11月23日）</li> <li>・中日新聞・朝刊（三河総合）「洋画家須田国太郎の軌跡」（11月26日）</li> <li>・碧南・高浜タウン情報誌たんぽぽニュース「展覧会紹介」（12月8日）</li> <li>・今見られる全国のおすすめ展覧会 by KATYCOM(Web)</li> <li>・Tokyo Art Beat(Web)</li> <li>・駅探(Web)</li> <li>・美術展ナビ(Web)</li> <li>・美術手帖(Web)</li> <li>・ウォーカープラス(Web)</li> <li>・西三河ぐるっとナビ(Web)</li> <li>・goo ニュース(Web)</li> <li>・outermostNAGOYA(Web)</li> <li>・アイエム(Web)</li> <li>・atoato.net(Web)</li> <li>・ゆこゆこ(Web)</li> <li>・dメニュー ニュース(Web)</li> <li>・abc0120(Web)</li> <li>・日本旅行(Web)</li> <li>・きょうと視覚文化振興財団(Web)</li> <li>・碧南市公式LINE</li> <li>・碧南市公式X</li> </ul>
--	--

**(5) 碧南市制 75 周年記念事業 開館 15 周年記念 顕神の夢 —幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで**

内 容	人知を超越した力のはたらき、不可知な存在への憧れや一体感、幻
-----	--------------------------------

	視を原動力として、強い思いで制作された絵画・彫刻作品約 120 点を紹介しました。出品作品には、円空、宮沢賢治、岡本太郎などの先人から、草間彌生、横尾忠則など現代を生きる作家まで、計 51 人の作家による作品が並びました。
会 期	令和 6 年 1 月 5 日（土）～2 月 25 日（日） 45 日間 ※会期中、展示替を行いました。 前期：1 月 5 日（金）～1 月 28 日（日） 後期：1 月 30 日（火）～2 月 25 日（日）
会 場	展示室1・2・3・多目的室A・エントランスホール
観覧者数	10,606人（1日平均235.7人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会、顕神の夢展実行委員会
共 催	朝日新聞社
助 成	一般財団法人地域創造
出品点数	124 点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 カタログA5判変型（20.9×14.8cm、368頁）、出品目録A4判両面
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：アイハラケンジ カタログ：アイハラケンジ、株式会社シナノ
担 当	大長悠子
関連事業	①記念てい談 演題：「顕神の夢」 日時：令和 6 年 1 月 6 日（土）14 時～15 時 30 分 講師：鎌田東二氏（京都大学名誉教授・本展監修者）・土方明司氏（川崎市岡本太郎美術館館長）・江尻潔氏（足利市立美術館次長） 会場：多目的室 B 参加：80 人 ②アーティスト「ト」トーク 日時：令和 6 年 1 月 20 日（土）14 時～ 講師：真島直子氏（アーティスト・本展出品作家） 内容：本展出品作品についての制作背景などについて語っていただくとともに、参加者と対話する機会としました。 会場：展示室 2 参加：36 人 ③座禅「ト」トーク

	<p>日時：令和6年1月28日（土）10時～11時30分  内容：本展担当学芸員のギャラリートークを聴講後、美術館から徒歩5分の林泉寺へ行き座禅体験を行いました。  会場：企画展会場・林泉寺  参加：20人</p> <p>④ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～）  説明者：大長悠子（当館学芸員）  第1回：令和6年1月14日（日） 41人  第2回：令和6年2月3日（土） 50人  第3回：令和6年2月18日（日） 53人</p> <p>⑤ワークショップ「カミ×あらわる フシギな世界」  日時：令和6年2月25日（日）10時30分～12時、13時30分～15時  講師：小林由依氏（陶芸家）  内容：紙コップや厚紙、ペンなどを使ってフシギないきものを作り、みんなの作ったいきものたちで遊びました。  会場：創作室  参加者 25人  参加費：100円  対象：3歳以上（幼児は保護者同伴）</p> <p>⑥バレンタイン企画 ミュージアムコンサート  日時：令和6年2月10日（土）19時～20時  演者：倉知可英（ダンサー）、高橋誠（バイオリン）、小川真騎子（ハープ）、佐久間瑛士（ギター）  内容：企画展にちなんだ神秘的なコンサートでした。  協力：碧南市芸術文化ホール エリアワングループ  会場：喫茶むぎの家  参加者 71人</p> <p>⑦夜間特別開館  日時：令和6年2月10日（土）  内容：ミュージアムコンサートがあった2月10日（土）は21時まで特別開館しました。</p> <p>⑧K庵コラボスイーツの提供  日時：会期中  会場：レストラン&amp;カフェ K庵  内容：九重味淋直営「レストラン&amp;カフェ K庵」で、期間限定コラボ</p>
--	---

	<p>スイーツ“みかわぷりん～顕神の夢～幻視の表現者”を提供しました。 注文してくれた方へ藤井達吉の絵ハガキをプレゼントし、美術館の半券を持参した方はコラボスイーツの割引を行いました。</p> <p>販売数：984 個、うち半券あり 407 個</p> <p>⑨「顕神の夢」オリジナルクッキーの販売 日時：会期中 内容：生活介護事業所ふれあい福祉園ガイアで作った「顕神の夢」オリジナルクッキーを販売しました。1月25日（木）11時～12時30分にふれあい福祉園ガイアの利用者が直接販売も行いました。</p> <p>販売数：222 個</p> <p>⑩図書館に特設コーナーを設置 日時：令和6年1月4日（木）～令和6年1月30日（火） 内容：図書館本館・中部分館・南部分館 で「顕神の夢」特設コーナーを1月30日（火）まで設置し、宮沢賢治、岡本太郎など出展作家に関連する図書を紹介しました。</p> <p>⑪音声ガイドの提供 日時：会期中 内容：21 作品について音声ガイドによる説明を提供しました。 利用者：463 人</p> <p>⑫缶バッチ型マグネット作り 日時：会期中の土曜日・日曜日・祝日 製作数：34 個</p>
<p>メディア掲載記事 (全78件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おでかけガイド 愛知の博物館 2023.10→2024.3」(10月発行、愛知県博物館協会)</li> <li>・広報へきなん 12月号、1月号</li> <li>・『月刊なごや』12月号(令和5年12月1日発行)</li> <li>・『月刊絵手紙』2024年1月号(令和5年12月発行)</li> <li>・情報誌『みどり』1月号</li> <li>・『美術の窓』12月号 展覧会紹介(生活の友社 令和5年12月20日発行)</li> <li>・『ナゴヤアートニュース 12・1月号』・『ナゴヤアートニュース 2・3月号』東海アド・エージェンシー</li> <li>・『情報誌 chao』「今月のプレゼント(招待券)」欄(令和5年12月15日発行、株式会社ネット・フレンズ)</li> <li>・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」1月号、2月号(株式会社ギャラ</li> </ul>

	<p>リーステーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日新聞広告【試写室下カラー】（令和5年12月29日朝、令和6年1月18日朝、2月9日朝）</li> <li>・朝日新聞広告【テレビ欄表札】（令和6年1月1日朝）</li> <li>・中日新聞広告【朝刊 西三河版】（令和6年1月1日朝）</li> <li>・JR金山・刈谷駅ポスター集中貼り広告（令和6年1月1日～2月25日）</li> <li>・朝日新聞【朝刊 名古屋本社版 広告特集】（令和6年1月4日）</li> <li>・インスタグラム広告（令和6年1月4日～2月25日）</li> <li>・TV-Bridge ウェブ広告（令和6年1月4日～2月25日）</li> <li>・朝日新聞【朝刊 三河版 開会式】（令和6年1月5日）</li> <li>・中日新聞【朝刊 西三河版 展覧会紹介】（令和6年1月7日）</li> <li>・朝日新聞【朝刊 社告】（令和6年1月8日）</li> <li>・中日新聞【夕刊（週末ガイド）】（令和6年1月11日、18日、25日、2月1日、8日）</li> <li>・朝日新聞広告【半3段】（令和6年1月11日朝、2月4日朝、20日朝）</li> <li>・KATCH NETWORK（ケーブルテレビ）「KATCH TIME30」（令和6年1月18日（初回放送）大長出演）</li> <li>・PITCH FM「まちかどリポート」（令和6年1月19日 大長出演）</li> <li>・朝日新聞広告【表札】（令和6年1月23日朝、2月2日朝、6日朝、16日朝、19日朝）</li> <li>・朝日新聞【朝刊（美術館・博物館）】（令和6年1月24日、31日、2月7日、14日）</li> <li>・名古屋鉄道主要駅構内ポスター掲示（令和6年1月24日～2月25日）</li> <li>・『知多半島情報誌 Step』「今月号のプレゼント（招待券）」欄（令和6年1月25日発行、有限会社メディアマガジン）</li> <li>・朝日新聞広告【半2段】（令和6年1月27日朝、2月8日朝、12日朝、15日朝）</li> <li>・山陰中央新報【朝刊 「見聞録」 福住廉氏展評】（令和6年1月31</li> </ul>
--	--

	<p>日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋鉄道金山懸垂幕広告（令和6年2月1日～2月26日）</li> <li>・岐阜新聞【朝刊 「美博ノート」 展覧会作品紹介】（令和6年2月2日、9日、16日）</li> <li>・PITCH FM「まちのまど」（令和6年2月7日 大長出演）</li> <li>・中日新聞朝刊【ART JAM企画2段1/4カラー】（令和6年2月9日）</li> <li>・碧南・高浜タウン情報誌たんぽぽニュース「コラボスイーツを味わって」（令和6年2月9日）</li> <li>・TOKYO ART BEAT バナー広告（令和6年2月18日～2月24日）</li> <li>・今見られる全国のおすすめ展覧会 by KATYCOM(Web)</li> <li>・Tokyo Art Beat(Web)</li> <li>・駅探(Web)</li> <li>・美術展ナビ(Web)</li> <li>・美術手帖(Web)</li> <li>・ウォーカープラス(Web)</li> <li>・西三河ぐるっとナビ(Web)</li> <li>・goo ニュース(Web)</li> <li>・outermostNAGOYA(Web)</li> <li>・アイエム(Web)</li> <li>・atoato.net(Web)</li> <li>・dメニュー ニュース(Web)</li> <li>・abc0120(Web)</li> <li>・日本旅行(Web)</li> <li>・Aichi Now(Web)</li> <li>・あいち観光ナビ(Web)</li> <li>・kelly(Web)</li> <li>・月刊ムー(Web)</li> <li>・碧南市公式LINE</li> <li>・碧南市公式X</li> </ul>
美術館学習	市内5中学校1・2年生 1,337人・教員77人

## 2 常設展

### (1) コレクション展

第1期	近代の藤井達吉
-----	---------

	<p>会 期：令和5年5月2日（火）～6月25日（日）48日間          会 場：展示室4          展 示 数：17点          観覧者数：5,689人（無料）（1日平均118.5人）</p>
第2 -1期	<p>宮田二郎コレクション          会 期：令和5年7月7日（金）～8月27日（金）44日間          会 場：展示室3          展 示 数：18点</p>
第2 -2期	<p>涼しい絵画          会 期：令和5年7月7日（金）～9月24日（日）68日間          会 場：展示室4（藤井達吉記念室）          展 示 数：11点          観覧者数：5,282人（無料）（1日平均77.3人）</p>
第3期	<p>図案とデザイン          会 期：令和5年10月15日（日）～12月17日（日）55日間          会 場：展示室3          展 示 数：16点          観覧者数：3,706人（無料）（1日平均67.3人）</p>
第4期	<p>継色紙の世界          会 期：令和5年12月22日（金）～令和6年3月31日（日）77日間          会 場：展示室4（藤井達吉記念室）          展 示 数：17点          観覧者数：8,069人（無料）（1日平均155.2人）（令和6年2月28日現在）</p>

(2) 文化財・民俗資料展

（会場：地下1階情報コーナー展示ケース）

第1期	<p>会 期：令和5年5月2日（火）～8月20日（日）          内 容：碧南の歴史「碧南に伝わる家康の足跡」</p>
第2期	<p>会 期：令和5年8月26日（土）～11月26日（日）          内 容：民俗資料「蔵出し！土人形」</p>
第3期	<p>会 期：令和5年12月2日（土）～令和6年2月4日（日）          内 容：民俗資料「食にまつわる道具たち」</p>
第4期	<p>会 期：令和6年2月10日（土）～3月31日（日）          内 容：民俗資料「ぬくぬくほっこり～温かいもの尽くし～」</p>

### 3 共催展等

#### (1) 棚尾小達吉クラブの探求—藤井篠作《しだ図》から現代へ—

会 期	令和5年6月14日（水）～7月9日（日） 23日間
会 場	多目的室B
観覧者数	865人（無料）（1日平均37.6人）

#### (2) 第36回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展

会 期	令和5年11月25日（土）～12月10日（日） 14日間
会 場	多目的室B
観覧者数	406人（無料）（1日平均29.0人）

#### (3) るるる展

会 期	令和6年3月1日（金）～3月31日（日） 27日間
会 場	多目的室B
観覧者数	人（無料）（1日平均 人）

#### (4) 第7回碧南市民アンデパンダン展

会 期	令和6年3月19日（火）～3月31日（日） 12日間
会 場	多目的室B
観覧者数	人（無料）（1日平均 人）

### 4 教育普及

#### (1) 子どもワークショップ

（対象：小学生、会場：創作室）（268人）

1	令和5年5月21日（日）	「ならべる」×「する」—配置の妙と版画の技— （11人参加）
2	令和5年6月25日（日）	「はかる」×「まぜる」—みんなで実験！色のふしぎ— （20人参加）
3	令和5年7月15日（土）	陶製の浮き金魚づくり—鑄込みと絵付け体験— （43人参加）
4	令和5年7月23日（日）	「紙」×「染める」—和紙を彩る模様の世界— （19人参加）
5	令和5年8月6日（日）	「織る」コースターづくり（22人参加）
6	令和5年9月17日（日）	頭も和紙も柔らかく 和紙で作る自由なカタチ （17人参加）
7	令和5年9月24日（日）	「ぬる」×「けずる」—スクラッチ技法にチャ

		レンジー (19人参加)
8	令和5年10月22日(日)	「混ぜる」×「練る」－紙ねんどでお菓子づくり－ (22人参加)
9	令和5年11月12日(日)	「転がる」×「うつる」－スポンジローラーで絵づくり－ (17人参加)
10	令和5年12月3日(日)	「かくれる」×「しかける」－絵の中のヒミツ－ (15人参加)
11	令和5年12月9日(土)	常設展関連 いもはんで年賀状を作ろう (17人参加)
12	令和6年1月14日(日)	「鳴る」×「祈る」－土笛をつくろう－ (25人参加)
13	令和6年2月18日(日)	「刷る」×「みつける」－スタンプした偶然の形からイメージしよう－ (21人参加)
14	令和6年3月17日(日)	美術館探検②－るるる展で遊ぼう－ (人参加)

(2) 親子ワークショップ (対象: 3～6歳とその保護者、会場: 創作室) (169人)

1	令和5年5月28日(日)	「みつける」×「あにまる」－手形から創造の世界へ－ (28人参加)
2	令和5年6月18日(日)	「はかる」－美術館って何cm?! みんなで回ろう体験ツアー－ (18人参加)
3	令和5年8月20日(日)	「あつめる」×「かわる」－みんなで作る道や町－ (28人参加)
4	令和5年10月15日(日)	常設展関連 達吉図案の缶バッチづくり (27人参加)
5	令和5年10月15日(日)	「つなげる」×「サークル」 (20人参加)
6	令和5年11月19日(日)	「転がる」×「カラフル」－ローラーを利用したおもちゃづくり－ (16人参加)
7	令和5年12月17日(日)	「開ける」×「閉める」－紙の窓から見た世界－ (14人参加)
8	令和6年1月21日(日)	「お面」×「かぶる」－段ボールでお面をつくろう－ (18人参加)
9	令和6年3月10日(日)	美術館探検①－るるる展で遊ぼう－ (人参加)

(3) びあじ (美術館あそび実験室) (12人) (対象: 3歳以上の子どもと大人、会場: 創作室、館内)

1	令和5年11月11日(土)	たつきちめがねであそぼう! (12人参加)
---	---------------	-----------------------

(4) 出前講座

実施日	令和5年6月27日(火)～令和6年2月8日(木) 延べ14日
対 象	鷺塚小学校1年×3回(279人)、中央小学校特別支援学級(23人)・4年(83人)、棚尾小学校1年(74人)・特別支援学級(28人)、日進小学校特別支援学級(16人)・1年(61人)、西端小学校特別支援学級(15人)・2年(66人)・1年(67人)、東中学校1年×2回(174人) 延べ886人
内 容	<p>・鷺塚小1年(創作)  「油粘土に親しもう」  油粘土のほぐし方、全ての量を使う事等、取り扱い方から創作への手順を示し、後片付けまでの流れを展開した。</p> <p>「絵具に親しもう①」  水と絵具を少量で済ませ、簡単に片づけられる方法を紹介。特にパレットの活用方法や赤・黄・緑・青・白の5色のみの混色で、土の色や落ち葉など様々な色を表現した。</p> <p>「クレヨンを使おう①」  クレヨンでの混色やぼかし技法・スクラッチ技法・グラデーション表現などを紹介した。</p> <p>・中央小学校 特別支援学級(創作)  「切紙一切って開くと、何が出来る?」  造形展の作品作りの導入として、紙帯や折り紙を折り曲げ、ハサミで切り抜いて連続模様を作る方法を紹介した。</p> <p>「クレヨンを使おう①」  クレヨンでの混色やぼかし技法・スクラッチ技法・グラデーション表現などを紹介した。</p> <p>・棚尾小学校1年(創作)  「鉛筆スケッチ①(植物を描く)」  草花や木をよく観て描く手順や心構えを伝えた。植物の構造にも触れ、葉っぱなど対象物を数えるようにスケッチする方法を紹介した。</p> <p>・日進小学校 特別支援学級(創作)  「ぼたぼたアート」  絵具+のりを混ぜ、画面に垂らす遊びの後、自分たちで集めた素材を貼り付ける創作。造形展の作品作りの導入として実施した。</p> <p>・日進小学校1年(創作)  「油粘土に親しもう」  油粘土のほぐし方、全ての量を使う事等、取り扱い方から創作への手順を示</p>

	<p>し、後片付けまでの流れを展開した。</p> <p>・ 棚尾小学校 特別支援学級（創作） 「絵具に親しもう①」、「絵具に親しもう②」 水と絵具を少量で済ませ、簡単に片づけられる方法を紹介。特にパレットの活用方法や赤・黄・緑・青・白の5色のみの混色で、土の色や落ち葉など様々な色を表現した。</p> <p>・ 西端小学校 特別支援学級（創作） 「切紙一切って開くと、何が出来る？ー」 紙帯や折り紙を折り曲げ、ハサミで切り抜いて連続模様を作る方法を紹介した。</p> <p>・ 西端小学校 2年（創作） 「おもちゃづくり」 準備物や作業手順を計画し、身近な材料を活用する事を楽しむ。材料に対し、適切な道具や接着剤を使用する事を伝えた。</p> <p>・ 西端小学校 1年（創作） 「絵具に親しもう②」 水と絵具を少量で済ませ、簡単に片づけられる方法を紹介。特にパレットの活用方法や赤・黄・緑・青・白の5色のみの混色で、土の色や落ち葉など様々な色を表現した。</p> <p>・ 中央小学校 4年（創作） 「彫刻刀を使う」 彫刻刀の持ち方と彫る手順、安全に制作を進めるための心構えや制作中の整理整頓を伝えた。</p> <p>・ 東中学校 1年（鑑賞＋創作） 「水墨画」 美術館所蔵の掛け軸の水墨画一幅を鑑賞。牛乳を使った白抜きの技法を体験。墨のにじみやかすれを応用して、樹木や波、星空などを表現した。</p>
--	--

(5) 実習生受入れ

実施日	令和5年8月22日（火）～8月26日（土） 5日間
実習生	八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科正科生1名
内容	博物館法に則った学芸員としての専門的実務実習を行いました。

(6) 美術館見学

実施日	令和5年10月6日（金）
対象	大浜小学校2年
内容	児童に美術館の仕事や施設の案内を行い、2年生生活科「町たんけん」の

	授業に協力しました。
--	------------

(7) その他

実施日	令和5年5月26日(金)
場所	岡崎女子短期大学
講師	大長悠子(当館学芸員)
内容	碧南市藤井達吉現代美術館での教育普及活動について(講義)

実施日	令和5年6月29日(木)
対象	碧南市教育委員会
審査員	大長悠子(当館学芸員)
内容	碧南海浜水族館写生大会の審査

5 保存・修復

(1) 美術館生物生息調査

調査期間	令和5年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。今後も清潔な環境維持に努めます。

(2) 収蔵庫空気環境モニタリング調査

調査期間	令和5年1月
調査場所	収蔵庫前室・収蔵庫1・収蔵庫2・収蔵庫3・多目的室A
調査内容	有機酸・アンモニア検知用パッシブインジケータによる調査 粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定
調査結果	収蔵庫1・収蔵庫2において有機酸(検知管)反応の傾向が見られたため、劣化した段ボール箱の廃棄処分を行い改善を図りました。その後は有機酸の反応傾向は見られず、良好であると考えられます。害虫生息調査については結果待ちです。今後も清浄な環境維持に努めます。

(3) 汎用額用マット作成

実施期間	令和5年10月
対象	須田国太郎展展示デッサン作品の額装のためのマット製作
内容	額装用ブック式マット19点作成しました。

(4) 野外彫刻メンテナンスのための調査

実施期間	令和5年5月
対象	環境造家Q《スパイラル》
経緯	経年による土台の地割れによる、敷瓦の破損、不均等化。
内容	彫刻自体には問題はなく、設置場所が病院入口のロータリーということもあり、修理が容易ではないこと、人の侵入がほとんどないことなどから危険度が低いという判断にいたり、定期的な状況観察をつづけることとした。

(5) 収蔵作品燻蒸処理

実施期間	令和6年2月11日（月）～2月14日（木）
対象	令和5年度、購入6点、寄託、寄贈の資料と個人所有指定文化財、一時保管庫保管資料約403点
経緯	寄贈作品に虫害の発生がみられたこと、カビが確認されたことから実施
内容	業者所有の燻蒸専用車による被覆燻蒸（酸化エチレン製剤エヒキュームSを用いて24時間室温23℃湿度53%の環境にて）処理を行った。
判定結果	文化財虫菌害研究所の判定結果待ち。

(6) 作品等保存修復

実施期間	令和5年4月
対象	荻須高德作品の額修復
内容	リニューアル展展示のため、修復室にて額縁の亀裂を補修し補色を行いました。

実施期間	令和6年2月
対象	高松次郎作品の木枠補強
内容	キャンバスのフレームが乾燥により緩んでいた為、簡易的な補強を行いました。

6 調査研究

企画展図録等刊行・執筆

『碧い海の宝箱 一達吉からはばたく未来』

木本文平 「リニューアル記念展によせて」

- 豆田誠路 「章解説」「作品解説」「作家略年譜」  
 大野俊治 「章解説」「作品解説」「作家略年譜」  
 大長悠子 編集、「章解説」「作品解説」「作家略年譜」  
 日置（宮脇）麻里 「作品解説」「作家略年譜」  
 『歴史系企画展 生誕160年 清澤満之の世界展』  
 豆田誠路・日置（宮脇）麻里 編集  
 『美術と風土 アーティストが触れた伊那谷展』  
 木本文平 「作品解説」  
 『須田国太郎の芸術-三つのまなざし-展』  
 木本文平 編集、「須田国太郎の芸術-三つのまなざし-」「章解説」  
 大野俊治 「作品解説」「須田のデッサンについて」  
 大長悠子 「作品解説」  
 田邊咲智 「作品解説」  
 岩月真由子 「作家略年譜」  
 『頭神の夢展—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで』  
 大長悠子 「八島正明の光」（論考）、「作家・作品紹介」

## 7 所蔵作品等貸出

### (1) 所蔵作品

貸出作品	藤井達吉《土星》 藤井達吉《炎》 藤井達吉《仏殿図》 八島正明《給食当番》 円空《十一面観音菩薩立像》
貸出目的	「頭神の夢 幻視の表現者」展出品のため
貸出先	川崎市岡本太郎美術館（令和5年4月29日～6月25日） 足利市立美術館（令和5年7月2日～8月17日） 久留米市美術館（令和5年8月26日～10月15日） 町立久万美術館（令和5年10月21日～12月24日）
貸出期間	令和5年4月9日～令和6年2月25日
貸出作品	石井鶴三《浴女》 岸田劉生《童女飾り髪之図》 小林徳三郎《鯛》

	河野通勢 《琴棋書画之図》 長谷川潔 《小さな金魚鉢》 長谷川潔 《アレクサンドル三世橋とフランスの飛行船》 長谷川潔 《裸婦》 長谷川潔 《小さなアネモネ》 長谷川潔 《飼いならされた小鳥（西洋将棋など）》 長谷川潔 《小さなアネモネ》
貸出目的	「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い展」出品のため
貸出先	東京ステーションギャラリー（令和 5 年 9 月 16 日～11 月 12 日） 栃木県立美術館（令和 6 年 1 月 13 日～3 月 3 日） 長野県立美術館（令和 6 年 3 月 16 日～5 月 12 日）
貸出期間	令和 5 年 8 月～令和 6 年 7 月

貸出作品	富岡鉄斎 《老子過関図》 富岡鉄斎 《古石長椿図》 富岡鉄斎 《松石不老図》 富岡鉄斎 《高士肥遯図》 富岡鉄斎 《和合万福図》 富岡鉄斎 《耶馬溪図・宝珠川図》（2 幅） 富岡鉄斎 《福祿寿図》 富岡鉄斎 《瀛洲仙境図》
貸出目的	「没後 100 年 富岡鉄斎展」出品のため
貸出先	京都公立近代美術館（令和 6 年 4 月 2 日～5 月 26 日） 富山県水墨美術館（令和 6 年 7 月 12 日～9 月 4 日）
貸出期間	令和 6 年 3 月 14 日～令和 6 年 9 月

(2) 画像

貸出画像	毛利武士郎 《隕星》 1956 年
貸出目的	「Kurobe Art Research vol.2 生誕 100 年 毛利武士郎と黒部」展覧会 カタログへの掲載のため

貸出先	黒部市美術館
使用期間	令和5年6月20日発行
貸出画像	富岡鉄斎《瀛洲仙境図》大正12年
貸出目的	テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」放送のため
貸出先	株式会社ネクサス
使用期間	令和5年6月13日（火）20:54～21:53 放送
貸出画像	琅玕洞外観写真
貸出目的	『KANDALネッサンス』2023（第38巻第2号）掲載のため
貸出先	千代田区地域振興部
使用期間	令和5年11月25日
貸出画像	藤井達吉《扇面流し》（寄託）
貸出目的	棚尾町おこしの会制作 かわら版No.24「たなおまちおこし」の記事に画像を掲載するため
貸出先	棚尾町おこしの会
使用期間	令和6年1月から2月末頃まで

※令和5年度の観覧者等実績（令和6年2月28日現在）

観覧者数計：55,330人（企画展：31,313人、常設展：22,746人、共催展等：1,271人）

教育普及：子どもWS・親子WS437人、びあじ12人、美術館学習1,591人、出前講座886人

## 令和6年度活動計画について

## 1 企画展

## (1) NEW FACE 2024 新収蔵作品展

会 期	令和6年4月6日(土)～5月12日(日) 32日間
概 要	当館では、日本近代工芸史において前衛的な活動を展開した藤井達吉の作品や彼の芸術観を軸として、時代や地域性を考慮したコレクション収集をおこなっています。本展では、藤井の姻戚関係や直接交流のあった関係各位からご寄贈いただいた藤井達吉作品をはじめ、高松次郎や庄司達の現代美術作品など、令和5年度に館蔵となった新収蔵品を中心に紹介します

## (2) 春陽会誕生100年それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

会 期	令和6年5月25日(土)～7月7日(日) 38日間
共 催	中日新聞社(予定)、一般社団法人春陽会、日本経済新聞社
概 要	春陽会は、在野における洋画の美術団体として1922(大正11)年に結成されました。創立メンバーには、再興院展洋画部を脱退した小杉放菴や草土社の岸田劉生、そして、萬鐵五郎、梅原龍三郎など著名画家が名を連ねました。彼らは、個性を尊重する「各人主義」を謳い、自由な制作を行いました。本展は、春陽会の歴史を刻んできた画家の“それぞれの闘い”、そして日本近代美術史における春陽会の意義を、創立から1950年代頃に活躍した画家の作品を通して辿ろうとするものです。

## (3) 松本竣介《街》と昭和モダン —糖業協会と大川美術館のコレクションによる—

会 期	令和6年7月20日(土)～9月8日(日) 44日間
共 催	朝日新聞社(予定)
概 要	戦争と平和の激動の昭和時代、都市や生活様式の近代化はより身近なものとなりました。本展では、「昭和モダン」をテーマに、公益社団法人糖業協会の日本近代洋画コレクションと公益財団法人大川美術館のコレクションの中から選りすぐりの優品をご紹介します。松本竣介《街》を起点に、藤島武二、梅原龍三郎、安井曾太郎、東郷青児など日本洋画壇

	を代表する作家をはじめとした多彩な絵画によって、清新なイメージを求めた「モダン」の視点から「昭和」の時代をたどります。
--	---

#### (4) 没後100年 富岡鉄斎

(文化財課予算対応)

会 期	令和6年10月5日(土)～11月24日(日) 44日間
共 催	毎日新聞社(予定)
概 要	幕末の京都に生まれ、世に「最後の文人画家」と称えられる富岡鉄斎(1836-1924)は、近世都市の商人道徳を説いた石門心学を中心に、諸学を広く学ぶと同時に、南宗画、やまと絵等をはじめ多様な流派の絵画も独学し、深い学識に裏付けられた豊かな画業を展開しました。没後100年を迎える節目に企画する本展は、代表作はもちろんこれまで取りあげられる機会の少なかった優品、遺愛品なども展覧し、鉄斎の画業や生涯を紹介するものです。

#### (5) 足利市立美術館所蔵浅川コレクション 夢を追いかけた“前衛”の鼓動

会 期	令和7年1月4日(土)～2月24日(月・祝) 45日間
共 催	朝日新聞社(予定)
概 要	浅川邦夫氏(1932-)は、半世紀にわたり現代美術を扱うギャラリーに深く関わり、優れた画商としての眼力で蒐集した900点を越える美術品を、足利市立美術館に寄贈しました。本展は前衛と呼ばれた時代(1950年代後半-1970年代初頭)にスポットを当て、小野忠弘・桜井孝身・工藤哲巳の抽象画、中西夏之・菊畑茂久馬・三木富雄のオブジェ、細江英公や羽永光利の写真、ゾンネンシュターンの個性的な色鉛筆画やラウシェンバーグのカラージュなど厳選した国内外の作品群を当時の熱気とともに紹介します。

## 2 常設展

### (1) コレクション展

名 称	会 期 ・ 内 容
第1期	令和6年4月6日(火)～6月16日(日) 56日間 「長田美和子・義男コレクション」(展示室4)

第 2 期	令和 6 年 6 月 22 日(金)～8 月 25 日(日) 50 日間 「墨色百景」(展示室 3)
第 3 期	令和 6 年 8 月 31 日(土)～令和 6 年 10 月 20 日(日) 38 日間 「自然へのまなざし」(展示室 4)
第 4 期	令和 6 年 10 月 26 日(土)～令和 6 年 12 月 15 日(日) 42 日間 「いただきます! 収穫の秋」(展示室 4)
第 5 期	令和 6 年 12 月 21 日(土)～令和 7 年 3 月 23 日(日) 70 日間 「千福万来 福を呼ぶ絵画」(展示室 4)

(2) 文化財・民俗資料展

名 称	会 期 ・ 内 容
第 1 期	令和 6 年 4 月 13 日(土)～7 月 21 日(日) 75 日間 民俗資料：農具からみた昔の暮らし
第 2 期	令和 6 年 7 月 27 日(土)～10 月 27 日(日) 74 日間 民俗資料：漁具からみた衣ヶ浦の海
第 3 期	令和 6 年 11 月 2 日(土)～令和 7 年 2 月 2 日(日) 70 日間 民俗資料：瓦づくりの古い道具
第 4 期	令和 7 年 2 月 8 日(土)～5 月 6 日(日) 74 日間(予定) 碧南の歴史：三河地震が起こった頃 ～三河地震 80 年～

3 共催展等

(1) 第 31 回 西三文協美術展

会 期	令和 6 年 9 月 18 日(水)～9 月 23 日(月・祝) 6 日間
-----	---------------------------------------

(2) 第 16 回碧南文化協会選抜美術展

会 期	令和 6 年 11 月 30 日(土)～12 月 8 日(日) 8 日間
-----	--------------------------------------

(3) HEKINAN から それぞれのスピリッツ展 16th

会 期	令和 6 年 12 月 12 日(木)～12 月 22 日(日) 10 日間
-----	--

(4) 第 6 回碧南ビエンナーレ

会 期	令和 7 年 3 月 11 日(火)～3 月 23 日(日) 12 日間
-----	--------------------------------------

(5) 野外彫刻絵画コンテスト入賞作品展

会 期	令和 6 年 11 月 23 日(土・祝)～12 月 8 日(日) 14 日間
-----	---

(6) るるる展 (教育普及関連)

会 期	令和 7 年 2 月 1 日(土)～2 月 16 日(日) 14 日間
-----	-------------------------------------

オ 教育普及

市内小中学生の美術館学習、出前講座、市民の参加できるワークショップや、展覧会内容にふさわしい講演会を開催します。

カ 保存

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努める。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

キ 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に向けた調査研究を行います。

2 報告事項

(1) 令和5年度第1回、第2回収集部会の結果について

別添資料参照